## Tech E-

鹿児島大学の研究者と対話できる「場」を定期的に開催し、産学連携のきっかけをつくることで 企業の抱える技術的な課題解決をサポートし、新しいビジネスの創出を目指します。 大学の研究をあなたのビジネスに活かしてみませんか。

《第4回》

0月19日(末)

14:00~15:30

所

mark MEIZAN 2F

ユーティリティスタジオ (鹿児島市名山町9-15)

興味のある事業者





## 火山灰中に含まれる粘土鉱物のイオン吸着特性



PROFILE

理工学研究科 地球科学プログラム 教授

元治氏

略歴

1990年:鹿児島大学農学部助手 1998年:鹿児島大学農学部助教授 2005年:鹿児島大学理学部教授

2009年:鹿児島大学大学院理工学研究科教授 2014年:鹿児島大学学術研究院理工学域理学系教授 専 門:地球科学(地球物質科学)

研究シーズの概要

鹿児島には噴出年代や構成物質の異なる火山灰堆積物が広く分布しています。これらの火山灰堆積物はハロイ サイトやアロフェンなどの外部イオンに対する高い反応性を有する粘土鉱物を多量に含むことが知られていま す。これまで、これらの粘土鉱物の環境負荷イオン(セシウム、アンモニウム、ヨウ素酸、リン酸、ヒ素、その他)に対 する反応性と反応メカニズム等の検討を行ってきました。その結果、火山灰中のこれらの粘土鉱物は種々の環境 負荷イオンに対する高い吸着特性をもつことを確認し、環境浄化材料としての優れた利用価値を有することを明 らかにしてきました。鹿児島県には未利用の火山灰堆積物が膨大に存在します。これらの火山灰や火山灰中の 粘土鉱物の多様な性質を明らかにすることで、産業利用の促進に協力したいと考えています。

(申込はこちらから/

